

特集

親子で一緒に考えよう!

『あおもりで働くこと』

高校生・大学生、そして保護者にとっても「就職」は人生の一大イベント。最近ではコロナ禍で、学生の考え方や就活(就職活動)の形も変わってきているとか。子どもが将来を決める大事な「就活」。青森で叶える充実した働き方・暮らし方を、親子で一緒に考えてみませんか。

大学生 × 若手社会人

就活ホッポ対談

将来について考える大学生のお二人から、地元企業で活躍する先輩社会人へ、就職についての「今」の気持ちを語ってもらいました。



平川市出身

おおかわののか

大川 野乃華さん

青森中央学院大学 経営法学部3年

持続可能な環境や経済について調査・研究を行うMarine Labサークルに所属。不動産関係もしくは金融関係を志望。現在は就活前の準備段階として資格取得を目指して勉強中。

平川市出身

やまだひろこ

山田 寛子さん

青森中央学院大学 経営法学部3年

学友会会長を務める傍ら、Marine Labサークルを牽引。福祉関係に興味があり、将来的には、高齢者だけでなく子どもや障害者のケアなどを含む地域包括ケアシステムを構築することが目標。

八戸市出身

くまのたけと

熊野 健人さん

紅屋商事株式会社
人事総務部

北海道内の大学を卒業後、2014年に同社に入社。業務改善部教育課を経て、現在は人事・採用担当として奮闘中。

【撮影場所】弘前れんが倉庫美術館(弘前市吉野町2-1)

・開館時間/9:00~17:00 休館日/火曜日、年末年始 -8/29まで展覧会「りんご宇宙—Apple Cycle / Cosmic Seed」開催中—



熊野さん もちろん志望業界と関係のある資格なら、業界への興味や関心をアピールすることができずから、有効だと思えます。それと、お二人のようにサークル活動やボランティア活動、アルバイトなどを長く続けてきた人には、強みがありますね。それをしたことでのかなど。

大川さん 確かに周りでもまだ就活というほど活動をしている友達はいませんが、自分も、何が分からないのか分からないといった状態です。ただ、資格を取得することで有利になることもあるのかなど。

熊野さん 将来を意識しているんですね。私はギリギリまで就活をしていなくて、動き出したのは大学3年の年明けぐらいでした(笑)。

大川さん まだ漠然としていますが、県内で就職しようかなと考えています。父親が不動産関係の仕事をしている影響で、まずは宅建士(宅地建物取引士)の資格を取得するために勉強中です。

就活本番を前にした
大学3年の夏

自分が何を不得、どう変わったのか。その経験を基に自分の引き出しを増やしてきた人は、企業にとって魅力的だと思います。

思い描く未来像…

就職は夢への第一歩

山田さん 私は将来福祉の分野で起業したいと考えていて、就職はそのための情報収集や経験を積むためのものと捉えています。

熊野さん 将来的なビジョンがあり、エネルギーを感じます。

山田さん 一つの企業に留まるのではなく、段階的に働くところを変えてもいいかなと考えています。何かを習得したら次のステップに移るみたいな。ただ、コロナ禍ということもあり、自分の考えているようには進まないかもしれません。

熊野さん ステップアップのために職場を変えるのは悪いことではないと思います。何より、目標やビジョンがあることはキャリアプランを立てる上で重要です。遠回りをする事になっても、ぜひ夢を実現してください。

